

ウクライナ避難民等向け 日本語クラス ドゥルーズィ・みらいコース1・2

主催:(公財)横浜市国際交流協会

横浜に滞在するウクライナ避難民の方々等が安全・安心に生活できるよう、ウクライナ交流カフェ「ドゥルーズィ」の場を活用し、日常生活に必要な言葉や文化習慣等を学ぶ日本語教室を春と秋に開講しました。

<教室の目的>

- 1 日本での生活に役立つ基本的な日本語の表現・言葉を、主に生活の場面から学習する
- 2 日本語で実際にコミュニケーションしながら、お互いに理解し合うことを目指す
- 3 役立つ情報を得て、参加者同士が気軽に交流できる場とする

2年、3年と学習を積み重ね、学習者は単語で話すことから少しずつ文章で話せるようになり、学習者同士で日本語を教え合うことも増えていきました。教室では日本語サポーターや講師と会話する時間を多くとっていましたが、それらの活動を通して日本語で話すことにも徐々に慣れていき、交流会に来た初めて会う日本人にも臆することなく自分から日本語で話しかけていました。そして、各回のまとめや成果発表のときには積極的かつ自信を持って発表する姿が見られるようになりました。

アンケートでは、「自分で病院に行けた」「覚えたフレーズで隣の人と少しコミュニケーションがとれるようになった」などの声がありました。教室での学びや体験を活かし、地域や職場などでも日本語での交流がさらに広がっていくことを願います。

教室名	ウクライナ避難民等向け 日本語クラス ドゥルーズィ・みらいコース1・2
開催期間	コース1 2024年5月14日から7月16日まで コース2 2024年10月1日から12月3日まで (各コース10回) 毎週火曜日(週1回) 10:30-12:00(各回90分)
場所	ウクライナ交流カフェ「ドゥルーズィ」
対象	ウクライナ避難民の方等
参加人数 (学習者)	コース1:13人(のべ87人) / コース2:17人(のべ127人)
講師	2人 日高嘉恵さん 小野里香さん
教材	・オリジナル教材 ・「つながるひろがるにほんごでの暮らし」(文部科学省)
日本語 サポーター	コース1:9人(のべ34人) / コース2:10人(のべ32人) ・市内の大学生・留学生 ・市内地域日本語教室の日本語学習支援者 ・2022・2023年度日本語ボランティア入門講座修了生 ・2023年度ICT活用日本語教室 「よこはまでつながる 暮らしの日本語」修了者



グループ活動の様子



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営:公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします!



ウクライナ避難民等向け 日本語クラス ドゥルーズィ・みらいコース1・2

コース1



日本語交流活動(7/16)

これまで学んだ日本語の復習と、地域の人と簡単なコミュニケーションをとれることを教室の目標とし「チラシを読む」、写真を見せながら話をする「ピクチャートーク」などをテーマとして取り上げました。また、最終日には学習者と横浜で暮らす人々が知り合う機会として、日本語交流活動「ビジターセッション」を実施し、2人のビジターをお迎えしました。

お茶やウクライナの歌でおもてなしをしながら、学習者、ビジター、日本語サポーターが輪になって、互いに自分の好きなものの写真を見せあったり、ウクライナの「モタンカ」というお守り人形について説明したり、話に花を咲かせていました。

「横浜で暮らす・学ぶ」を共通点に参加したみなさんが、笑顔で互いに理解し、学び合う様子が伺えました。学習者の皆さんはこれまで学習を継続しビジターの方々と接することで、日本語でのコミュニケーションに手ごたえを感じる様子が見受けられました。

コース2



日本語エアロビクス(10/29)

近所の人、職場の人や病院の人との会話、「地域のイベントや教室への申し込み方法」「好きな料理のレシピ作り」などをテーマとして取り上げ、今後生活の中で、コミュニケーションの機会が広がっていくような日本語学習、活動を行いました。

病院での会話にもつながるよう、体の部位や右・左などの表現を学んだ際には、講師が「首、右に」「左手をあげます」などと声かけしながら日本語エアロビクスを行いました。学習者さんも日本語サポーターも、体の部位を声に出しながら笑顔いっぱい体を動かしていました。

コース2では日本語を単語ではなく文章で話せるようになり、またシラバス通りではなく自身の意見も交えて伝えられるような場面もかなり増えました。

カリキュラム(コース2)

1	お互いを知る
2	インターネットでの申し込み
3	会話を始める時の日本語
4	チラシを読む/色・服
5	体の部位の言い方
6	病院で使う言葉、会話(受付・診療室)
7	病院で使う言葉、会話(会計、薬局)
8	料理(道具・動作)
9	料理(レシピ)
10	物を借りる

学習者の声

- 道を尋ねる、店で探し物を尋ねるなど、日本人に話しかけられるようになり、生活に少し自信を持てるようになった。
- これから一緒に働いている人にも質問がしたい。

日本語サポーターの声

- 学習者に寄り添いながら進める時間は、楽しいものでした。
- コミュニケーションを重視することで、レベルの違いがあってもお互いに学べるのが素晴らしかったです。

講師の声

- みなさん、本当に熱心に学習に取り組んでいました。習った言葉を使って一生懸命話してくださる姿を見ると、皆さんの努力と成長に頭がさがる思いです。
- サポーターが学習者の近くで一緒に会話してくれたお陰で、各自のニーズに合ったことばを学べ、内容が広がりました。クラスに関わる皆の力が合わさり、有意義で楽しい時間でした。



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama Nihongo Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営:公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします!

